

## LED電源ユニット(一般屋内用)

| 品 番         | 適合灯具        | 必要LED電源ユニット数 |
|-------------|-------------|--------------|
| NNY28113LE9 | NNY20510(K) | 1            |



XXL14UA1C

・電源ユニットの取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

### 施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

### 安全に関するご注意

#### ⚠ 危険

- 断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しないでください。火災の原因となります。
- 住宅の断熱施工天井には使用できません。
- 接地工事（D種接地工事）を確実に行ってください。接地に不備があると感電の原因となります。
- 電源線の入線部分が上を向かないように取り付けてください。トラッキングによる火災・発火の原因となります。



#### ⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書に従い確実に行ってください。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 電源ユニットを並置する場合は、相互に熱影響を受けますので、十分間隔（電源ユニットの幅以上）をあけてください。また、箱の中に収納する場合は容積をできるだけ大きくしてください。
- 電源ユニットの改造は絶対に行わないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 必ず専用の灯具と組合せてください。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用してください。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電源ユニットは、横転・逆転しないように設置してください。設置が不完全な場合、火災の原因となります。

#### ⚠ 注意

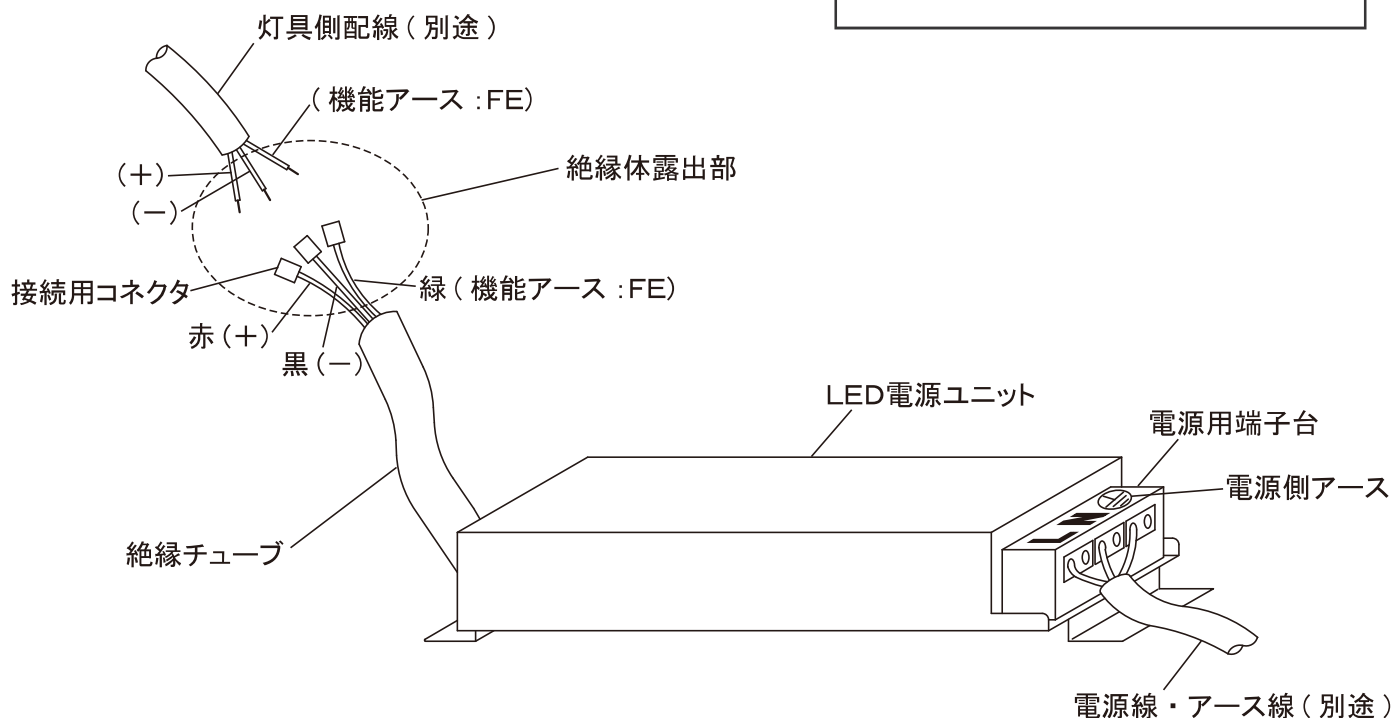
- 一般屋内用です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、可燃性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は、-20℃～40℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、火災及びちらつきの原因となります。
- ライトコントロールとの組合せ使用はしないでください。火災の原因となります。

## 各部の名称と取り付け方



**警告**

- 施工は、下記に注意して確実に行う。  
施工に不備があると、火災・感電・故障の原因となります。

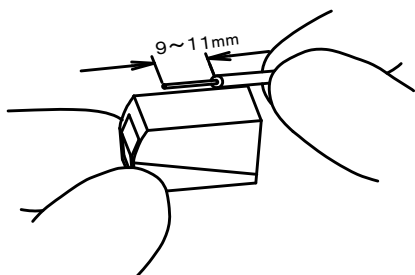


## 接続用コネクタ破損時の処置方法

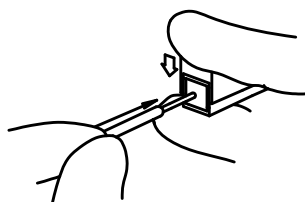
施工時に接続用コネクタを破損した場合は、  
施工業者にてコネクタ及びストッパを購入していただき下記の結線方法で交換をお願いいたします。  
必ず電源を切ってから行ってください。  
交換時は手袋などの保護具を使用して下さい。

コネクタ型番：LC-1 ワゴジャパン株式会社  
ストッパ型番：224-STN ワゴジャパン株式会社

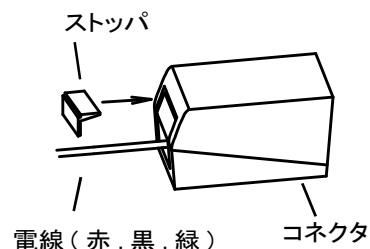
1. ストリップゲージ（ハウジングに刻印）に合わせて電線の被服をむいてください。（9～11mm）



2. 矢印の方向にコネクタをプレスしながらケージクランプ側（四角穴）に電線が突き当たるまで差し込んでください。コネクタを離せばスプリングが閉じて結線されます。



3. ストッパ（224-STN）を図の様に四角穴の上の隙間に差し込んでください。



## 各部の名称と取り付け方



- 施工は、下記に注意して確実に行う。  
施工に不備があると、火災・感電・故障の原因となります。

1. 取付前の確認をする。
  - ・ 電源ユニットの質量（0.75kg）に十分耐えられるような取付部の強度を確保してください。不備があると落下の原因となります。
2. 横転・逆転しないように設置する。
  - ・ 電源線の入線部分が上を向かないように取り付けてください。トラッキングによる火災・発火の原因となります。
  - ・ 設置が不完全な場合、火災・感電・故障の原因となります。
3. 電源線とアース線を電源用端子台に接続する。
  - ・ 電源線とアース線を電源用端子台の差し込み穴に確実に差し込んでください。
  - ・ 挿入後、引っ張って抜けないことを確認してください。
  - ・ 電源用端子台の送り容量は20Aです。  
接続が不完全な場合、または容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。
  - ・ 電源側アースの接地は必ず行ってください。
4. 灯具側配線を接続用コネクタに確実に差し込み接続する。
  - ・ 灯具側配線は3芯ケーブル（φ1.6、φ2.0）をご使用ください。
  - ・ 電源ユニットに通電した状態で接続しないでください。灯具故障の原因となります。
  - ・ 挿入後、引っ張って抜けないことを確認してください。
  - ・ 灯具側にて、灯具の機能アース（FE）が電源側アースと同アースに接地できる場合は、緑（機能アース：FE）は開放して使用可能です。
  - ・ 灯具に接続される極性（＋、－、機能アース：FE）にご注意ください。極性間違いの場合、火災・感電・故障の原因となります。
  - ・ 接続が不完全な場合、火災・感電・故障の原因となります。
  - ・ 灯具までの最大線長は100mです。
  - ・ 結線を確実に施した後、絶縁体露出部を絶縁テープにて保護してください。

## 安全に関するご注意



## 警告

- 電源ユニットの改造は絶対に行わない。火災・感電・落下の原因となります。
- 万が一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用しない。火災・感電の原因となります。速やかに電源を切り、販売店・工事店にご相談ください。



## 注意

- お手入れの際は必ず電源を切って、しばらくしてから行う。感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年（※）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

## 保証について

- 保証期間について  
この商品の保証期間は3年間です。
- 保証書について  
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品について  
弊社はこの電源ユニットの補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しております。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

## お手入れについて

- 器具の清掃について  
汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。  
アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンでふかないでください。  
変色・変質の原因となります。  
強い水圧をかけての清掃はしないでください。  
感電の原因となります。



## 注意

- 必ず電源を切ってから行ってください。  
感電の原因となります。

## 定 格

| 品 番         | 電 圧        | 入力電流       | 消費電力   | 周波数       |
|-------------|------------|------------|--------|-----------|
| NNY28113LE9 | AC100-242V | 0.89-0.39A | 89-87W | 50Hz/60Hz |

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土/9:00～18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

A0815-030422